

bluememe
MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

2026年3月期 通期決算説明資料

2026年9月30日

01	会社概要	>	03
02	2026年3月期 通期業績	>	08
03	事業拡大に向けた戦略	>	14
04	2027年3月期 通期業績予想	>	16
05	取組施策	>	18

1

会社概要

bluememe

BlueMemeの企業理念

新たな価値を創造し、常識を変え、
文化を進化させる

ブルー	ミーム
Blue	Meme
光り輝く	文化を伝える意伝子

当社の社名であるBlueMemeは、「光り輝く」という語源をもつ「Blue（ブルー）」と、文化を形成する情報を伝える意伝子を意味する「Meme（ミーム）」という二つの単語から構成されており、これまでの常識に囚われることなく、新しい文化を形成するための新しい価値の創造を目指していくという、強い理念を込めております。

BlueMemeのミッション

ミッション

最新技術を活用した企業競争力の向上

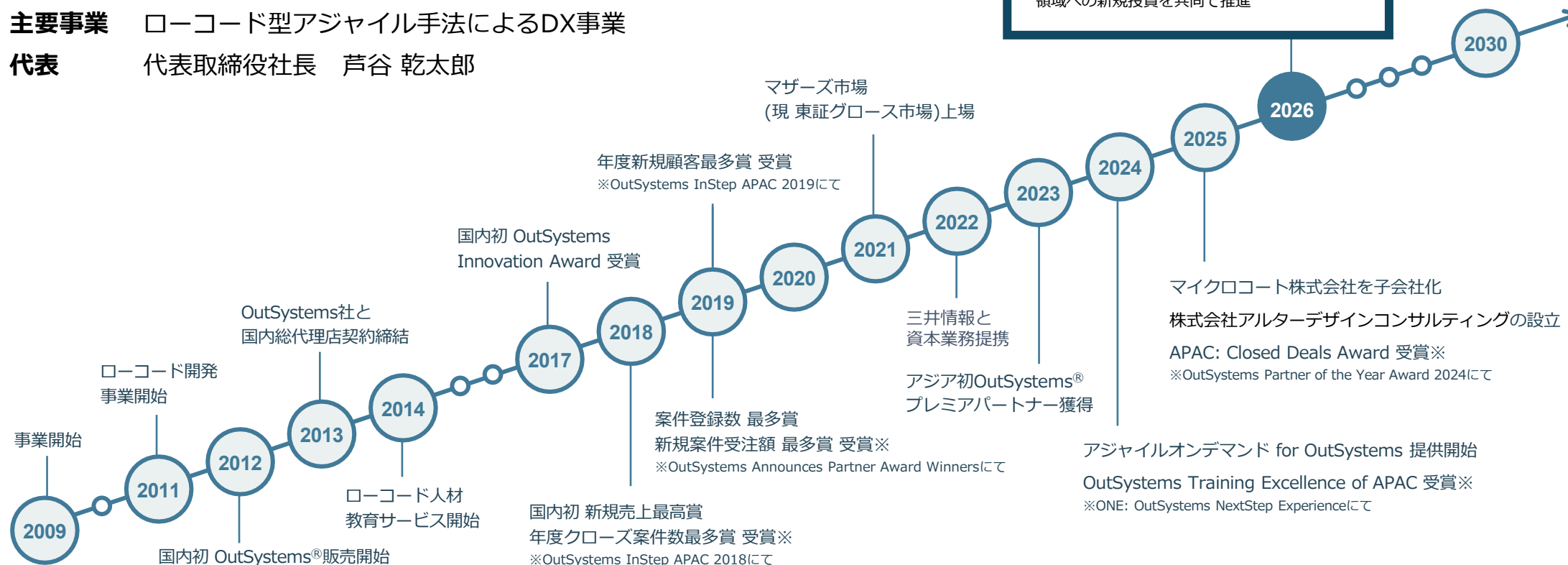
**先端技術と実装力で日本企業の組織そのものを
進化させ、持続的な国際競争力を協創する。**

創業から今日にいたるまでの沿革

会社名 株式会社BlueMeme（ブルーミーム）
本社 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア10F
従業員数 184名（2026年3月時点）
主要事業 ローコード型アジャイル手法によるDX事業
代表 代表取締役社長 芦谷 乾太郎

TDIと資本業務提携

ローコード開発事業、マイグレーション事業、
量子AIを活用したバイオインフォマティクス
領域への新規投資を共同で推進



経営陣のご紹介

bluememe

MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

ローコードを中心に
自動化技術を活用した
次世代型のシステム開発を
実現するIT企業

株式会社 BlueMeme (カブシキガイシャ ブルーミーム)

所在地

東京：千代田区神田錦町
東京分社：港区西新橋
福岡：福岡市博多区博多駅前
熊本：熊本市西区春日
沖縄：浦添市港川

グループ会社

株式会社OpenModels
株式会社BlueMeme Partners
マイクロコート株式会社
株式会社アルターデザインコンサルティング



芦谷 乾太郎

代表取締役社長

株式会社日本コンピューター・サービス・センター（現TDI株式会社）に入社後、システム開発およびSI事業の責任者として事業運営に従事。取締役兼上席執行役員として開発本部長等を歴任し、人財開発や監査業務にも携わる。退任後は同社顧問を経て、2026年4月に当社入社。同年6月に取締役に就任し、9月より現職。



雄鹿 基明

取締役

エンジニアリング系ソフトウェアベンダーにて、システム開発に従事。2016年にBlueMemeに入社し、当社の研究開発及び技術全般を主導。当社研究開発本部 本部長を経て、2026年6月より現職。

2

2026年3月期 通期業績

bluememe

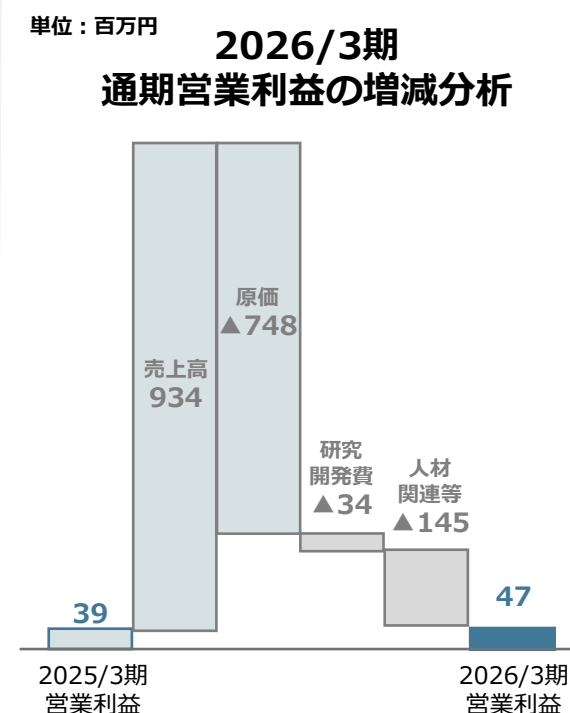
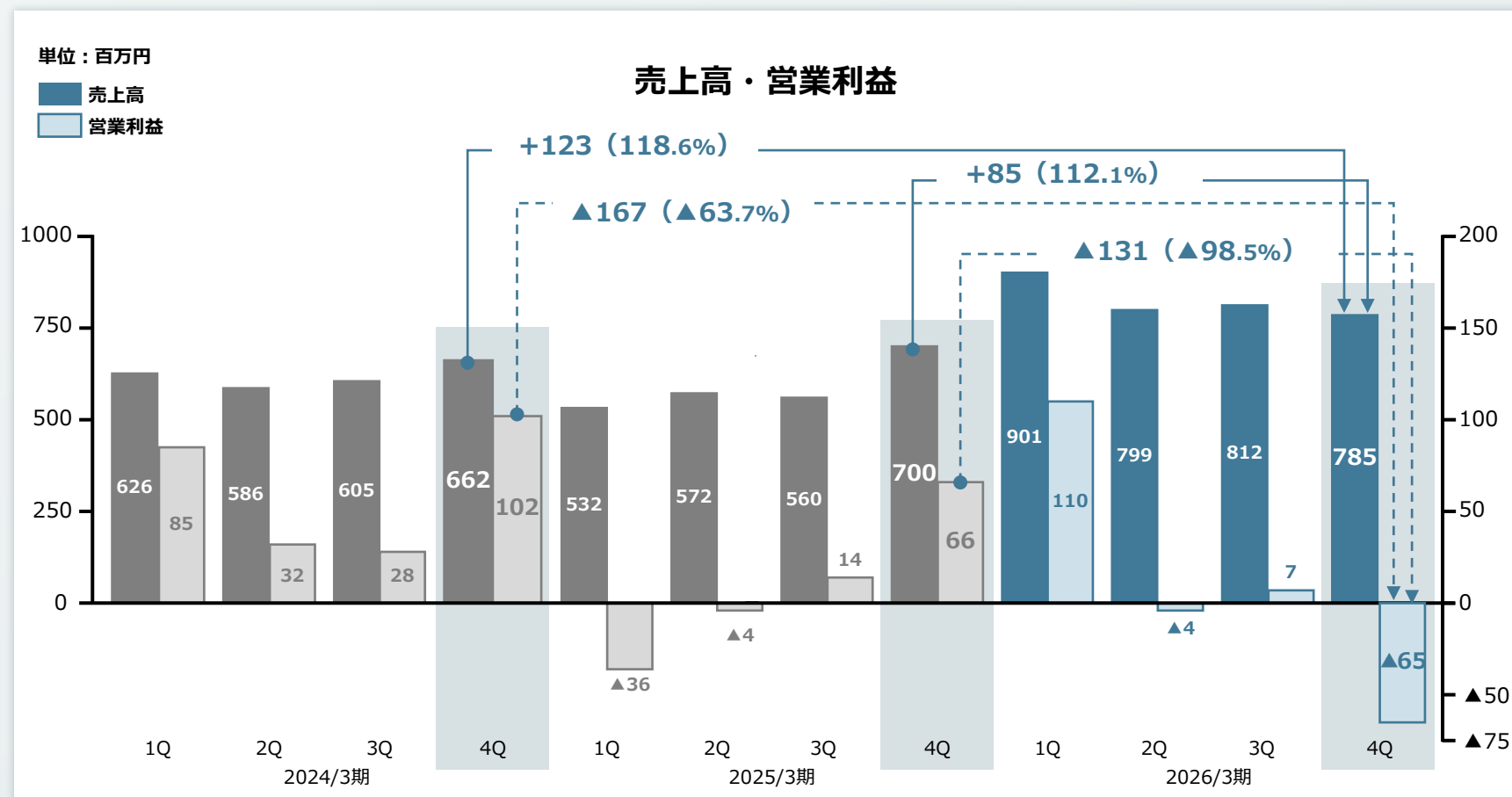
2026年3月期 通期連結 決算ハイライト

- 売上高は前期比39.5%増、通期計画に対しても順調に進捗した
- 営業利益は前期比121.6%の水準、営業利益の期初予算達成率は31.3%

	2025/3期 通期	2026/3期 通期	増減額	対前年比	2026/3期 計画	達成率
売上高	23.6億円	32.9億円	+9.3億円	139.5%	33.0億円	99.9%
プロフォーマ EBITDA	1.90億円	2.75億円	+0.85億円	144.6%	5.0億円	55.0%
営業利益	0.39億円	0.47億円	+0.08億円	121.6%	1.5億円	31.3%
経常利益	0.29億円	0.51億円	+0.22億円	178.9%	1.5億円	34.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲0.10億円	0.24億円	+0.34億円	—	1.0億円	24.0%

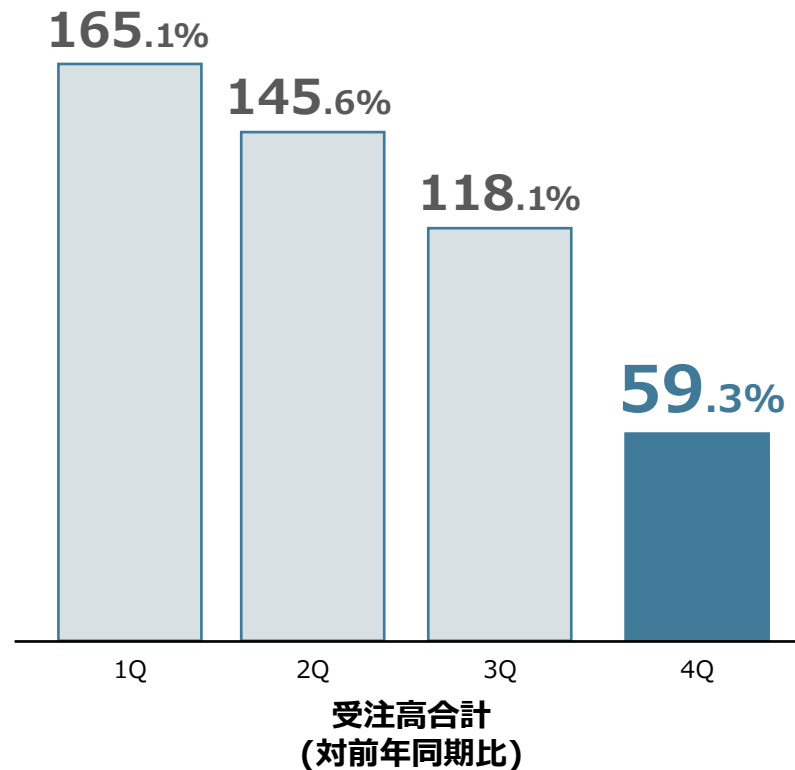
業績推移・営業利益増減分析

- 通期売上高は、前期比9.3億円の増収
- 原価は前期比7.4億円増、人材関連費用等は1.4億円増

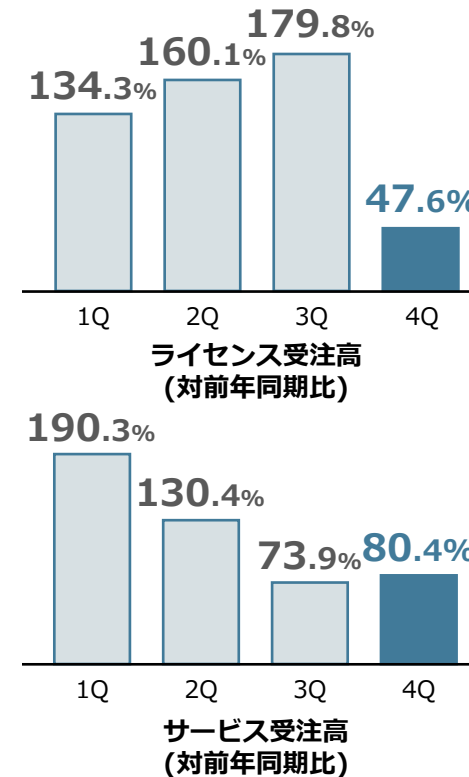


受注高の推移

- ライセンス受注は、第1～第3四半期まで高い伸びを継続したものの、対前年同期比47.6%と大幅に低下
- サービス受注は、上期の高成長が通期業績を牽引した一方、下期が前年割れ

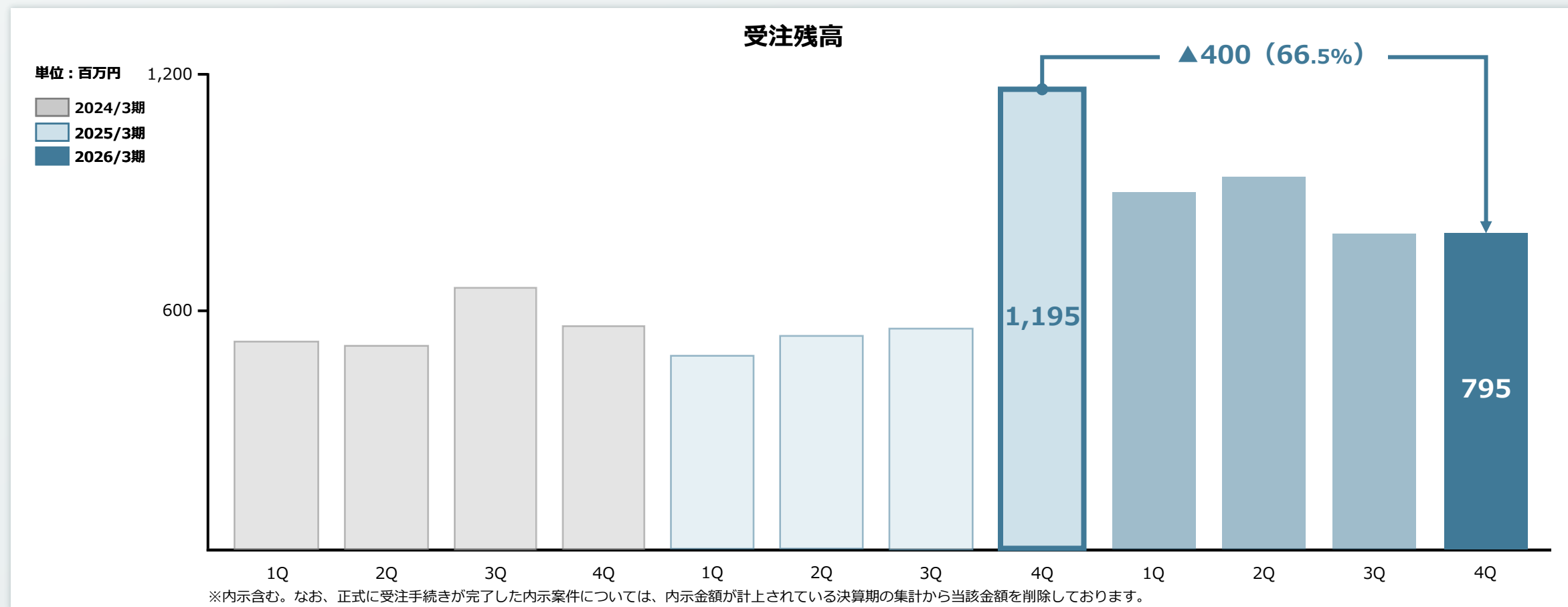


※内示を含む



受注残高の推移

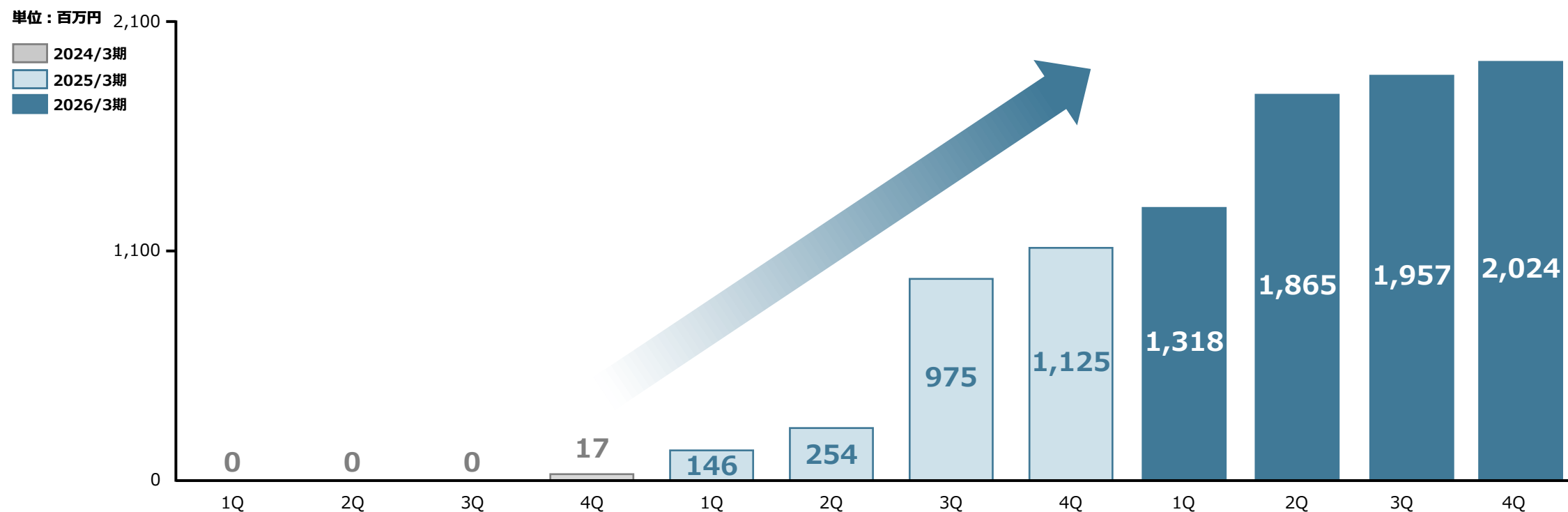
- 前期及び当期に受注した案件の消化がメインとなり、新規の大型案件の受注が弱含み
- 受注残高は対前年同期比66.5%で着地



デジタルエージェントの実案件適用状況

- 適用案件の受注高を拡大し、第4四半期では20億円を超えた
- 2025年11月よりデジタルレイバーを活用した業務システム開発サービス群「BlueMemeデジタルエージェントサービス※」を提供開始

デジタルエージェント適用案件受注高(累計)



※「BlueMemeデジタルエージェントサービス」は、これまで当社が研究開発を進めてきた「デジタルレイバー」を基盤とするサービス名称です。

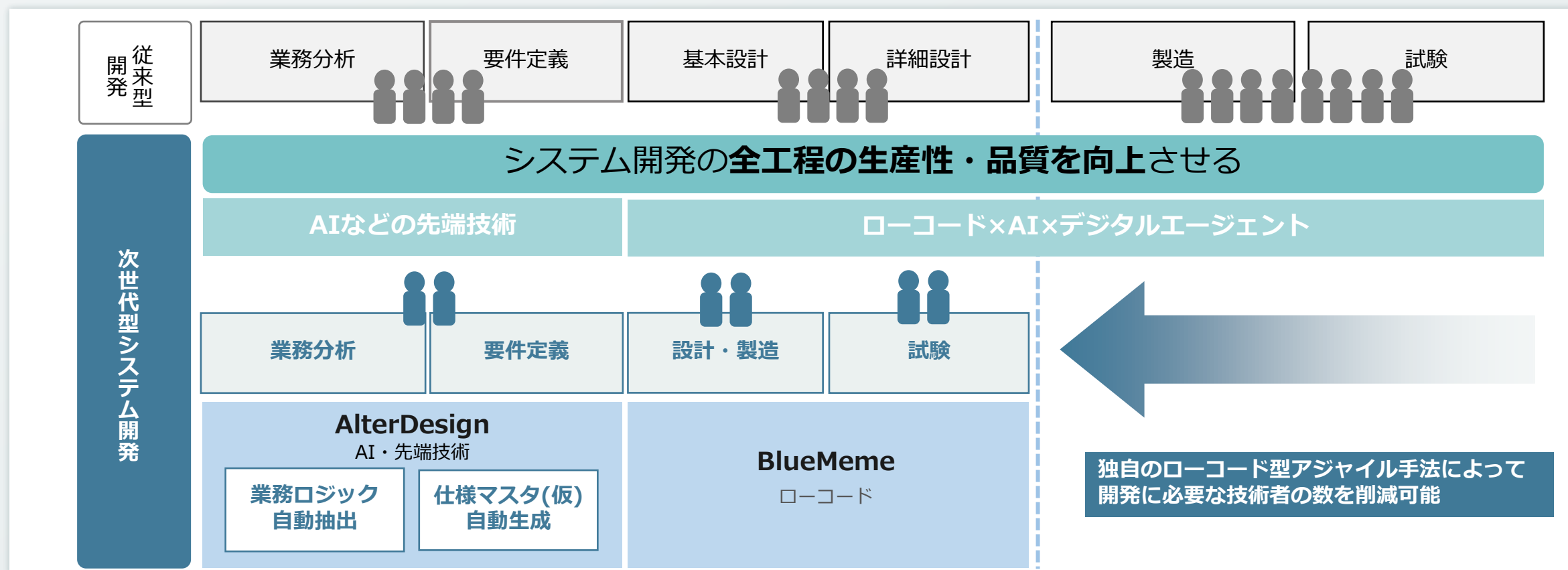
3

事業拡大に向けた戦略

bluememe

今後はローコード×AIを主体とした強固な事業基盤を構築

- **設計・製造・試験領域**では、当社の強みである**ローコード×AI×デジタルエージェント**を最大限に活用し、着実な事業成長を目指す
- **業務分析・要件定義領域**では、**AIの先端技術**を活用した新たな課題解決手法・コンサルティングの提供を拡大する
- 当社子会社「AlterDesign」はすでに、「**ブラックボックス化**」を解決し得る「**業務ロジック等を自動抽出するコア技術**」を開発



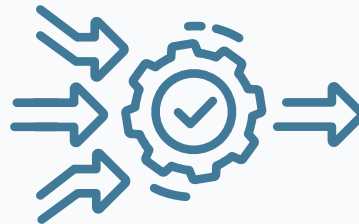
大手SIer TDIと資本業務提携、AI×ローコードで事業規模を拡大

- 2026年4月、独立系大手SIerであるTDI株式会社（旧商号：情報技術開発株式会社）との資本業務提携契約締結
- ローコード事業の拡大、AIを活用したレガシーシステム刷新、量子AI・バイオ領域への投資を軸とした高成長領域での協業推進
- 両社の顧客基盤・開発体制を活用したDX支援力強化および案件創出の拡大



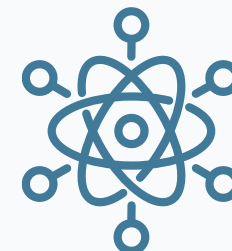
ローコード事業の拡大

TDIの大手顧客基盤とBlueMemeのローコード開発力を融合した案件拡大・デリバリー強化・人材育成推進



AI活用のレガシー刷新

生成AIを活用したレガシーシステムのコード自動解析・自動変換による、高効率・高収益なDX市場開拓



量子AI・バイオ投資

量子AI×バイオインフォマティクス領域への共同投資を通じた、中長期成長事業創出および技術優位性確立

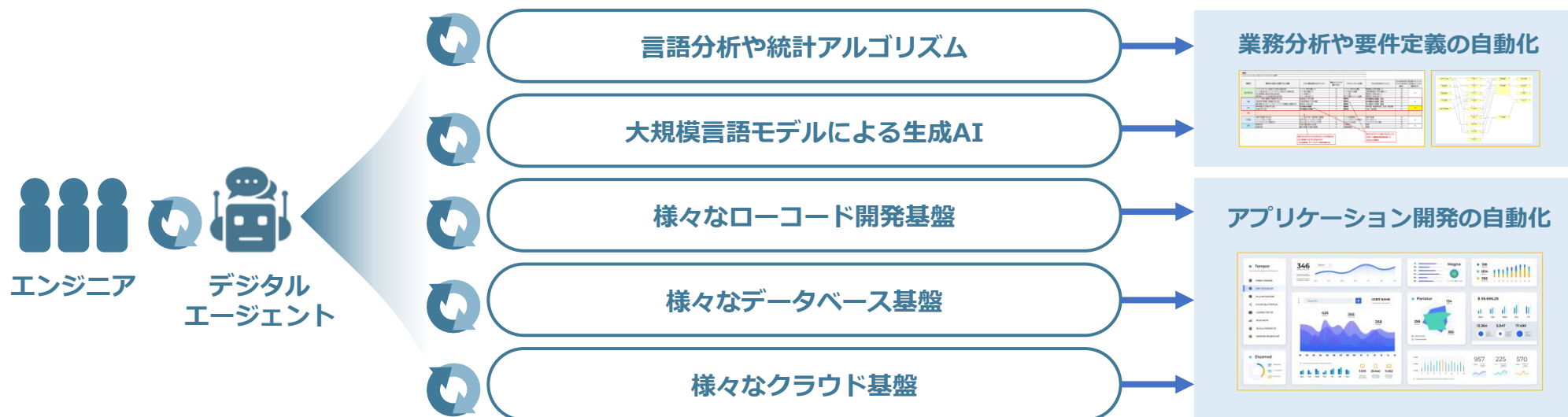
3つの領域を軸に、より迅速な事業規模の拡大と広範な技術領域への対応を実現

生産性を飛躍させるBlueMemeデジタルエージェントサービス

- 従来、各種資料でご説明してきた「デジタルレイバー」技術を、サービス化にともない「デジタルエージェント」に名称変更
- 同技術により技術者は**生成AIやローコードの学習コストを削減**しつつ、**システム開発の生産性を飛躍的に向上**させることが可能
- IT開発における生産性だけでなく、人口減少が進む日本の社会課題の解決にも寄与すると自負

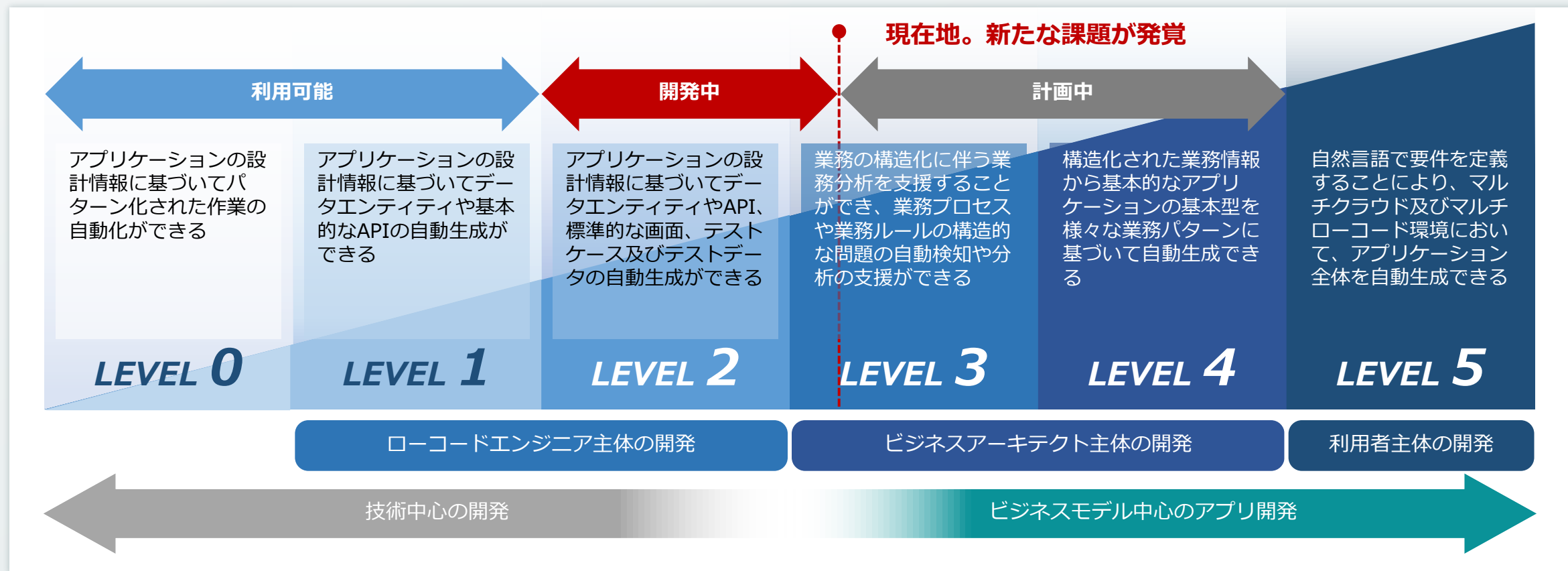
デジタルエージェントによる開発生産性の向上

生成AI、ローコード、データベース、クラウド基盤を活用し、要件定義からアプリケーション開発までを支援



デジタルエージェントの開発状況と、「ブラックボックス化」の壁

- デジタルエージェントは実案件への適用による**LEVEL2とLEVEL3部分の開発を継続中**
- LEVEL3**の目標のひとつである「業務の構造化に伴う業務分析」が、**レガシーシステムのブラックボックス化等により阻害される**
- モダナイゼーションだけでなく、同開発においても「業務ロジック」等の企業資産の抽出化が極めて重大な課題**であると再認識



「ブラックボックス化」を解消するためには、新たな課題解決策が必要

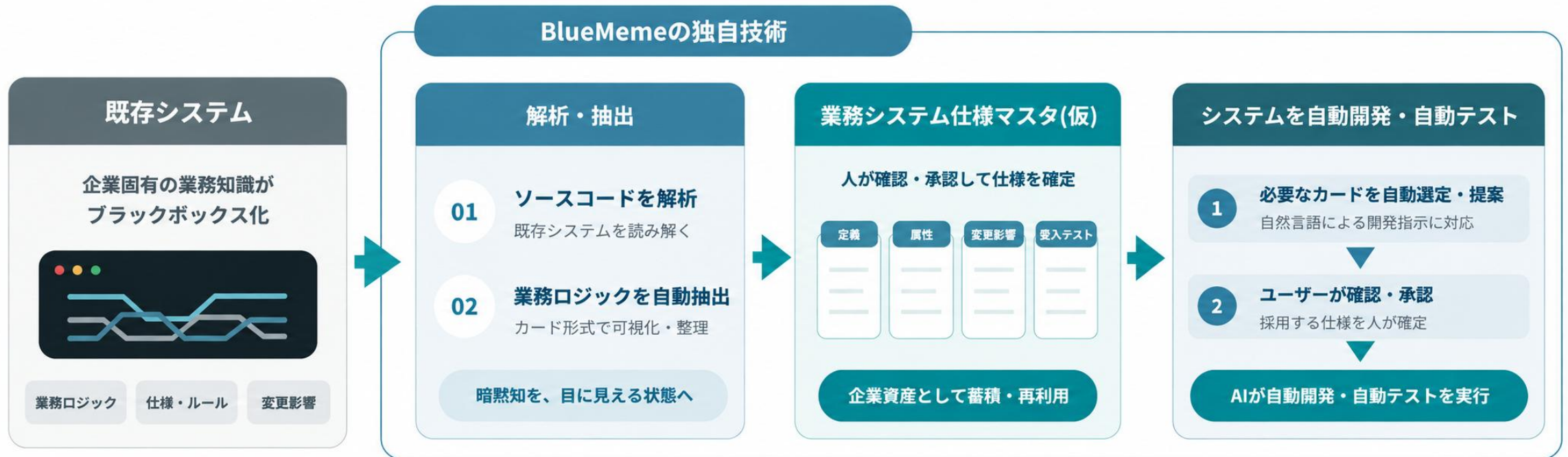
- 経済産業省のレポートは、ユーザー企業の協力が得られないことがモダナイゼーションの高難度化の要因のひとつと指摘
- しかし、その本質的な課題は業務システムのブラックボックス化であり、ユーザー企業単独での解消は極めて困難
- 当社はユーザー・ベンダー双方の障壁を解消するため、既存システムから業務ロジック等を抽出するコア技術の開発を開始



出典：経済産業省・IPA「レガシーシステムモダン化委員会総括レポート」（2025年5月）をもとに作成

業務ロジック等を自動抽出する、当社独自のコア技術

- **既存システム**を解析することで、数十年分の**業務ロジック等を自動抽出するコア技術**の開発に成功
- 同技術は、**結論・根拠・適用範囲・例外・テスト・承認・変更の来歴**を結びつけた記録群を「**業務システム仕様マスタ(仮)**」として保存
- ユーザーが求めるシステムを自然言語で入力すると、**AIエージェントが自動開発・テストまでを一貫して行う**



出典：経済産業省・IPA「レガシーシステムモダン化委員会総括レポート」（2025年5月）をもとに作成

4

2027年3月期 通期業績予想

bluememe

業績予想

- 2027年3月期は経営改革・ガバナンス強化等に注力し、売上・利益は減少を見込み

単位：百万円

	2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	対前期増減率
売上高	3,298	2,600	▲21.2%
営業利益	47	30	▲36.2%
経常利益	51	30	▲41.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24	▲400	—

(注) 金額は百万円未満切捨